第176回

# 東京医科大学病院　市民公開講座

※来場型開催

2025 4/18 金

第1部 演題

# 肝癌治療の最前線

第2部 演題

# 子どもの手術について知ろう
## ～よくある病気から最先端の治療まで

第1部 講師

消化器外科・小児外科
准教授　金沢 景繁 医師

肝癌には原発性肝癌と転移性肝癌があり、原発性肝癌のなかでは、肝細胞癌が多く、最近では生活習慣病、特に脂肪肝やアルコール性肝炎を背景として発生するものが増加しています。また、転移性肝癌では大腸癌からの肝転移が多く、しばしば多発性で、手術不能と診断される例もみられますが、最新の化学療法と肝切除を組み合わせることで、根治切除が可能となってきました。肝癌の最も根治的な治療法である肝切除は、近年急速に進化しており、特に患者さんに優しい低侵襲肝切除が可能となってきています。当院では、最新のロボット支援下肝切除を積極的に行っており、ロボットの様々なテクノロジーにより、安全かつ精緻な肝切除が可能となり、早期の社会復帰をサポートしています。

第2部 講師

消化器外科・小児外科
准教授　古賀 寛之 医師

小児外科という診療科をご存知でしょうか?小児外科はこどもの外科です。小児外科では生まれたての赤ちゃんから 15 歳までの小児の主に手術を必要とする病気を担当しています。対象疾患は小児の一般外科、呼吸器疾患、消化器疾患、泌尿器疾患と多岐にわたります。こどものからだは発育の途上であり、発育に伴って機能も変化しています。こどもの生理、疾患病態、治療法に専門的知識をもった外科医が小児外科医です。
今回の市民公開講座では小児外科とはどのような診療科で、よくある日常疾患から最先端の小児外科低侵襲手術といった内容でこどもの外科疾患への理解を深めていただきたいと思います。

**日　時**　2025 年 4 月 18 日(金)　開場 16：30　開演 17：00 ～　閉演 18：30(予定)

**会　場**　東京医科大学病院 本館 9 階 臨床講堂（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

**申　込**　事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。
※尚、座席数に限りがございます(360 席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

共　催：東京医科大学／東京医科大学病院 生涯教育センター
公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団／東京医専
問合せ：東京医科大学病院 総務課　tel.03-3342-6111(代)